

指定管理施設事業評価票(令和4年度分)

1. 施設所管課 観光経済部 藤原観光課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市みよりふるさと体験村		
	所在地	日光市中三依407番地1他		
指定管理者	名称	中三依自治会		
	代表者名	自治会長 阿久津 広一		
	住所	日光市中三依6番地		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5 年間
選定方法	非公募	評価実施年	5 年間のうち	1 年目
施設設置目的	快適で個性豊かなむらづくりを推進し、山村地域の特性を活かした地域活動を促進することを目的とする。			
主な実施事業	キャンプ場、及び宿泊事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a ケビン	人	2,500	2,372								
b 野外調理施設	人	200	144								
c テントサイト	人	700	394								
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計 A	8,604,510	0	0	0	0
指定管理料	0				
利用料収入 C	8,293,510				
自主事業収入	291,000				
その他	20,000				
支出計 B	8,491,013	0	0	0	0
指定事業費	8,461,913				
内人件費 D	4,320,710				
内外委託費 E	272,270				
自主事業費	29,100				
事業収支 A-B	113,497	0	0	0	0
人件費率 D/B	50.89%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	3.21%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、細部に至るサービス改善を模索し、利用者の満足度向上につながった。
 ・問い合わせ窓口として電話・メール以外に店舗公式のLINEアカウントを作成した結果、多くのお問い合わせが寄せられ、利用者の利便性向上につながった。
 ・キャッシュレス決済システムを導入した結果、多くのお客様に利用していただけた。
 ・施設利用直前にも清掃点検を行い、虫の侵入による利用者満足度の低下を未然に防ぐことができた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
総括	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B	
	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
総括	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
	利用実績は、目標水準である。	B	B	
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	C
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	・利用者の利便性の向上に常に取り組むことができた。			
	・新型コロナウイルス感染症対策も万全に行い、感染者を出すことなく営業できた。			
	(所管課評価)			
	例年、経費削減に努めており、自主事業も積極的に実施していることから、今後も継続して利用者拡大に努めて欲しい。			
所管課及び自治会内での十分な連絡調整ができなかった。今後はより一層の報告・連絡・相談を心掛け、施設運営して欲しい。				
経理事務に理解しにくい箇所が見受けられた。今後は改善が必要であり、明確な説明ができるよう資料をしっかりと備えて欲しい。				
今後も引き続き、利用者の利便性の向上に期待する。				
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	= 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	= 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好)	= A、C以外
	C(要改善)	= 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。					
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。					